本多劇場様が、開場30周年を前に舞台照明と空調設備をまるごとリニューアル 舞台芸術に求められる多彩な先進機能を搭載した調光設備を導入 またエリア別空調を採用することで「お客さまに快適な空間」を実現しました

本多劇場様は、下北沢が「演劇の街」と呼ばれる所以の劇場です。
1982年11月に開場した当初から演劇専用の劇場として、多くの人気劇団の公演がラインアップされ、東京の小劇場演劇の中心的な存在となっています。
30 年経過する中で、設備の老巧化対応と快適空間づくりに向けて、調光設備、演出性・操作性の高い調光卓の導入と空調設備の改修を提案し、パナソニックグループならではの総合力でリニューアルを実現しました。

ご採用ポイント

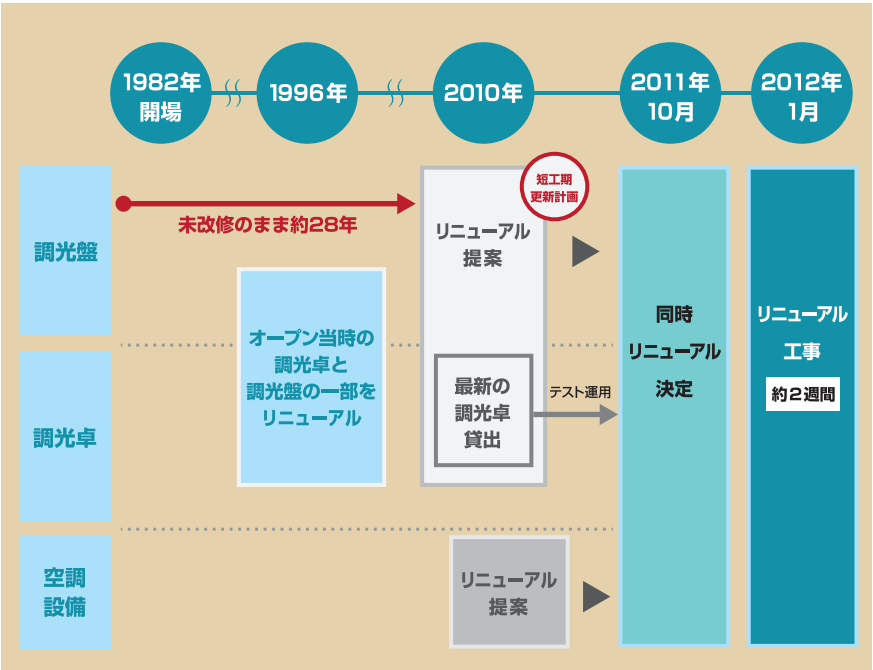
①経年劣化を考慮した調光設備リニューアル提案

②デモ調光卓で先進の演出機能と卓越した操作性を実感

③決められた期間内で同時に空調リニューアル

▲本多劇場（ホール）

28年経過した調光盤の改修提案をキッカケにして 調光盤、調光卓と空調設備を同時に改修（提案時は28年経過）



■概要
施　主／本多劇場グループ 様
所在地／東京都世田谷区
施工／パナソニック EWエンジニアリング
　　パナソニック産機システムズ
リニューアル竣工／ 2012 年 1 月

■ 施設概要
舞台／間口11.7m、高さ6.1m、奥行き 9.3m
客席数／ 386 席

■ 納入設備
・記憶調光操作卓・パレータスγ
・インテリジェント調光盤
・直調切替盤
・冷暖房空調設備

公演合間の２週間で調光卓と調光盤・直調切換盤を改修

調光設備の短期間改修ポイント

①調光室の配線スペースに浮き床（地下ピット）方式を採用。事前に調光盤間の配線準備を行いました。
②調光盤の配置換えにより、作業スペースを広く確保し、作業の効率化を図りました。
③デモ用調光卓で、本番に合わせた仕込み作業を事前にしていただき、引渡し翌日の本番に対応しました。

調光卓は、先進のライティングパフォーマンスはもちろん、ネットワークに接続したモバイルパソコンで「パッチ」「レベル設定」などの仕込み操作やデータのバックアップができるなど、機能性と操作性が優れた「パレータスγ」を採用されました。あらゆる場所から遠隔操作を可能にするだけでなく、オフライン操作器としても仕込みデータの操作が自由自在なため、仕込み作業が大幅に効率化できます。

調光盤は開館以来、未改修の調光盤と1996 年に改修した調光盤が混在したものをデジタル対応のインテリジェント調光盤に改修しました。
漏電・容量オーバーなどの異常が発生した回路、回路の接続状態、空いている回路などが一目で確認できる自己診断機能を搭載し、安全性と作業効率を高めています。

調光卓

▲従来の調光卓「パコリスⅡα」

▲記憶調光操作卓
「パレータスγ」とモバイルパソコン

調光盤

▲強電パッチ盤

◀従来の調光盤

▲直調切換盤

◀インテリジェント調光盤

空調は、吸収式 +PAC+RAC の組み合わせにより効果的なエリア別空調を実現

空調の改修ポイント

①事前に配管を準備して、現場では繋ぎ合わせるだけのプレハブ工法を採用。
　これにより、現場作業を大幅に少なくでき、２週間の改修を実現しました。
②必要負荷再確認により機器容量を削減（100RT⇒60RT）しながら、快適空調を実現しました。
③環境負荷低減、ランニングコスト低減に優れた高効率な「吸収式グリーン制度選定機種」を納入しました。

本多劇場様では、全館を吸収冷温水機で空調制御していましたが、今回の改修では客席・舞台を吸収式、ロビーや調光室などはPACとRACによる空調に切り替えました。グリーン制度選定機種のＶシリーズをご採用いただいたことで、エリアごとの快適性と省エネ性を両立させた空調が実現できました。

■ 納入設備
- 吸収冷温水機
  （ガス焚 13Ａ バック型）
- パッケージエアコン
- エアコン

▲吸収冷温水機

▲廊下部休憩所の室内機は、
４方向天井カセット形、
風が均一に行き届き、
喜ばれています

■発行
パナソニックEWエンジニアリング株式会社
〒540-0001　大阪市中央区城見2-1-61　JYOタワー10F
©Panasonic Electric Works Engineering Co., Ltd.
本書からの無断の複製はかたくお断りします。
このチラシの記載内容は2024年4月現在のものです
EGR-02-03　202404